

Q1. これまでにインターン学生を受け入れたことがありますか。あるとお答えいただいた場合はこれまでに実施した回数をお書きください。

| | |
|----|---|
| ある | 5 |
| ない | 2 |

回数:それぞれ6, 4, 3, 2, 1回

Q2. 研修が始まる以前、学生をインターンシップに受け入れた場合にどのようなメリットがあるとお考えでしたか(複数回答可)。

| | |
|-----------------------|---|
| 学生視点の意見を取り入れることができる | 5 |
| 指導に当たる職員の成長 | 1 |
| 学生を受け入れたことによる職場全体の活性化 | 3 |
| 学生の持つ知識や技術の活用 | 1 |
| 学生及び大学とのコネクション形成 | 3 |
| 最近の学生の質や動向を知る | 4 |
| 優秀な人材の確保 | 3 |
| 企業または業界に対する理解の促進 | 3 |
| 実践的な職務能力を備えた人材の育成 | 2 |
| その他 | 0 |

Q3. 研修が始まる以前、学生をインターンシップに受け入れることに対して、どのような不安がございましたか(複数回答可)。

| | |
|------------------------------|---|
| 学生とのコミュニケーション | 1 |
| 学生が習得している知識や技術について | 2 |
| 学生のビジネスマナーについて | 2 |
| 学生による情報漏洩や器物損壊 | 0 |
| 指導を担当する社員の通常業務への支障 | 2 |
| 研修カリキュラムの設計 | 3 |
| 社員のインターン学生に対する理解 | 2 |
| 研修時間外の学生の生活(学生が遠隔地から派遣される場合) | 3 |
| その他 | 1 |

Q4. インターン学生を受け入れるにあたり、どのような準備をされましたか(複数回答可)。

| | |
|---------------------|---|
| 社員へのインターン実施の告知 | 6 |
| 指導担当者の選定 | 6 |
| 研修カリキュラムの作成 | 5 |
| デスクやコンピュータなど研修環境の用意 | 6 |
| インターン学生の宿泊先の手配 | |
| その他 | 1 |

Q5. どのような研修をインターン学生に体験させましたか(複数回答可)

| | | |
|-----------------|---|---------------------------------|
| 社内や関連会社の見学 | 6 | その他 ・特許の書き方、技術の本質を2,3行で言えること |
| プレゼンテーション | 2 | |
| 会議や打合せへの参加 | 6 | |
| 資料調査 | 5 | |
| 企画立案などの演習 | 5 | |
| 実地研修(取材や撮影への参加) | 5 | |
| その他 | 1 | |

Q6. 今回の研修では何人の社員がインターン学生の指導に当たりましたか。

| | |
|---------|---|
| 1人 | |
| 2人 ~ 3人 | 5 |
| 4人 ~ 5人 | 1 |
| 6人以上 | 1 |

Q7. 1日どれくらいの時間、インターン学生の直接指導に当たりましたか。

| | |
|-----------|---|
| 1時間未満 | 2 |
| 1時間 ~ 2時間 | 2 |
| 2時間 ~ 3時間 | 2 |
| 3時間 ~ 4時間 | |
| 4時間 ~ 5時間 | |
| 5時間 ~ 6時間 | |
| 6時間以上 | 1 |
| その他 | 0 |

Q8. どのような形で学生の行動、もしくは研修の成果を確認しましたか。

| | |
|-----------|---|
| 日誌の提出 | 2 |
| 口頭での報告 | 6 |
| プレゼンテーション | 1 |
| 課題の提出 | 6 |
| 特に行わなかった | |
| その他 | |

Q9.今回、インターンシップを実施してどのような効果があったと考えられますか。
各項目について当はまる記号に丸をつけてください。

| | A - 効果があった | B - ある程度効果があっ | C - あまり効果はなかった | D - 全く効果がなかった |
|------------------------|------------|---------------|----------------|---------------|
| 学生視点の意見を取り入れることができた | 1 | 4 | 2 | |
| 指導に当たる職員の成長 | | 2 | 4 | 1 |
| 学生を受け入れたことによる職場全体の活性化 | 1 | 2 | 3 | 1 |
| 学生の持つ知識や技術の活用 | 2 | 3 | 2 | |
| 学生及び大学とのコネクションが形成できた | 2 | 2 | 3 | |
| 最近の学生の質・動向を知ることができた | 2 | 4 | 1 | |
| 最近の大学教育の傾向について知ることができた | | 4 | 2 | 1 |
| 企業や業界に対する理解を促進できた | 1 | 5 | | 1 |
| 実践的な職務能力を備えた人材の育成ができた | | 3 | 3 | 1 |
| その他 | | | | |

Q10.インターン学生が貴社に対して貢献できた点はありませんか。具体的にお書きください。

先端の映像制作に関する知識の活用 ・映像マーケットの情報収集

学生たちは「博多部」をテーマにサイトを企画、制作するように求めた。取材、文章の執筆コンテンツの制作まで学生が担当し、約4ヶ月がかりでしあげた(インターンシップ終了後は、アルバイトとして雇用した)。普段は人手不足から取材してコンテンツをつくることができない上、当社のスタッフにかけている技術もあり、これらの点でインターンシップの学生の貢献は大きかった

インターンが映画クルーの人間とどうコミュニケーションでき、自分の判断でどこまで行動し、責任感をもてるかを見ることが出来た点。

・調査業務 ・会議補助

インターン学生を担当した我が社の社員にとって、国際的なネットワークを経験する機会になりました。

中国における広告やクリエイティブの情報や現状を教えてもらい大変参考になった。また、本人の才能や能力を生かし多くの企画作業を行ってもらい、実務の面でも貢献してくれた。

東大安田研と東工大酒井研と他流試合をやったが、寺岡、亀井氏とも優秀な成績であった。

Q11. 今回、インターンシップを実施してどのような点が問題になりましたか(複数回答可)。

| | | |
|------------------------------|---|----------------------------------|
| 学生とのコミュニケーション | 2 | その他 |
| 学生が習得している知識や技術が不足していた | | |
| 学生のビジネスマナーが不足していた | | ・社員に少し遠慮があった |
| 学生による情報漏洩や器物損壊 | | ・夏休みが取れなかった、別の時期のほうが良いかも、各大学とも大講 |
| 指導を担当する社員の通常業務への支障 | 1 | 座制では |
| 研修カリキュラムの内容が多すぎた | | ないので、対応できる教官がないのが問題 |
| 研修カリキュラムの内容が少なすぎた | | ・研修期間が短すぎた |
| 一日の研修時間が長すぎた | | ・インターンが指示によるだけでなく自分の判断で行動できるかどうか |
| 一日の研修時間が短すぎた | 1 | |
| 社員のインターン学生に対する理解 | | |
| 研修時間外の学生の生活(学生が遠隔地から派遣される場合) | | |
| その他 | 4 | |

Q12. インターンを行う時期は適切でしたか。

| | | |
|------------------------------------|---|-------------------------------------|
| そう思う | 4 | |
| どちらとも言えない | 1 | |
| そう思わない | 2 | |
| よろしければ貴社にとって不適切な時期をお教えてください。(自由回答) | | |
| 1月 | 1 | その他 |
| 2月 | | |
| 3月 | 1 | ・4,5は新生で、1,2が卒学生で、忙しい、7,8は教官も自分の研究を |
| 4月 | 1 | したい |
| 5月 | 1 | ・作品製作時 |
| 6月 | 1 | |
| 7月 | 1 | |
| 8月 | 1 | |
| 9月 | 2 | |
| 10月 | 1 | |
| 11月 | 1 | |
| 12月 | 1 | |
| その他 | 2 | |

Q13. インターンの研修期間は適切でしたか。

| | |
|-----------|---|
| そう思う | 4 |
| どちらとも言えない | 1 |
| そう思わない | 2 |

そう思わないとお答えいただいた方におたずねします。
インターンシップを行うに当たって適切だと思う期間をお書き下さい。

| | |
|-------|---|
| 2～3日 | |
| 1週間程度 | |
| 2週間程度 | |
| 3週間程度 | |
| 1ヶ月程度 | |
| 2ヶ月程度 | 1 |
| 3ヶ月以上 | 1 |
| 半年以上 | |

Q14. インターンを行う上で、インターン学生はどのような能力・資質を備えていることが必要だと感じましたか。各項目について当てはまる記号に丸をつけてください。

| | A - 必要である | B - ある程度必要である | C - あまり必要はない | D - 全く必要はない |
|--------------------|-----------|---------------|--------------|---|
| 専門的知識や技術 | 1 | 2 | 3 | 1 |
| 一般的教養・知識 | 3 | 3 | 1 | |
| ビジネスマナー | 2 | 4 | 1 | |
| コミュニケーション能力 | 5 | 1 | 1 | |
| パソコン操作能力 | 3 | 3 | 1 | |
| 協調性・チームワーク | 2 | 4 | 1 | |
| 粘り強さ | 2 | 4 | 1 | |
| 指導に対する的確な受け答え | 1 | 4 | 2 | |
| 業務を自主的にこなせる計画性・行動力 | 1 | 4 | 2 | |
| 仕事に対する責任感 | 6 | | 1 | |
| 仕事に対する意欲・熱意 | 6 | 0 | 1 | |
| 明確な目的意識 | 4 | 2 | 1 | |
| その他 | | | 1 | 自分の興味ある分野、進めている研究を技術、作品、ビジネス、市場の中で立ち位置を語れば良いのでは |

Q15. 今後、インターンシップ学生に学んで欲しいと思うことは
どんなことですか(複数選択可)。

| | | |
|-------------|---|---------------------------------|
| 専門的な知識や技術 | | その他 |
| 一般的教養・知識 | 1 | 自分の研究技術の売りそれをコンパクトに説明 / 訴求できる能力 |
| ビジネスマナー | 1 | |
| コミュニケーション能力 | 3 | |
| プレゼンテーション能力 | 3 | |
| 業界の基本構造や動向 | 3 | |
| 市場分析能力 | 2 | |
| 企画力 | 4 | |
| 語学スキル | 1 | |
| その他 | 1 | |

Q16. その他、お気づきの点などがございましたら
ぜひご教授ください。

クリエイター、プロデューサーといった各職種間の視点の違い、求められる能力の違いを、大局的にでも事前レクチャーしておいていただけると、学生がよりスムーズに業務を理解できると思います。

他のコンテンツをコピー＆ペーストして使用しようとしていた部分があった。教育現場は、著作権法の例外で、他のコンテンツの流用、複写は認められているが、実社会ではそうはいかない。著作権についての教育を強化してほしい。当社は大学側との話し合いの結果、学生たちに賃金を支払わなかったが、実質的には労働力になっていること、この間、アルバイトができないことなどから一定の報酬を支払ったほうがいいたろう。

今、何が起きていて、その結果次に何が必要となるかを想像する力。

インターンシップの場所が韓国であるため可能であれば、簡単な会話があらかじめできたらもっと良かったと思います。

インターンシップの中では、技術や経験は教えることはできても意欲を高めることは難しい。企業側の指導者がどこまで踏み込めるのかの判断に困る。(どこまでお尻を叩けるのか)

Q16. 率直に伺います。今回受け入れたインターン学生が今すぐ社会に出た場合、即戦力として
通用する人材だと思いますか。

| | |
|--------------|---|
| そう思う | 5 |
| 今回だけでは判断できない | 2 |
| そう思わない | |

Q17. インターン学生を通して、現在の教育機関に
足りないものは何だと感じましたか(複数回答可)。

| | | |
|------------------|---|-----------------------|
| 実用的な知識・技術の教育 | | その他 |
| 外国語教育 | 1 | |
| インターン制度に対する支援 | 4 | ・コンテンツをつくるためのフィールドワーク |
| 産業界との連携 | 2 | ・知的財産権の保護戦略 |
| 社会にとって還元性のある人材育成 | 1 | |
| 大学自身のブランディング | 1 | |
| 学外への情報配信 | 1 | |
| 対外的な窓口機能 | 1 | |
| その他 | 2 | |

Q18. 今後、コンテンツ業界に必要とされる人材を育成するために
どのようなカリキュラムを設置すべきだと考えますか(複数回答可)。

| | | |
|--------------------------|---|----------------|
| ビジネス英会話 | 2 | その他 |
| シナリオ / 脚本 / 演出 | 3 | |
| プロデュース論 | 4 | ・知財管理論 |
| 経営マネージメント | 1 | ・語学の習得(可能であれば) |
| マーケティング論 | 4 | |
| 産業構造論 | 2 | |
| 音楽プロデュース論 | | |
| コンテンツ配信論 | 2 | |
| 情報倫理 | 1 | |
| 情報リテラシー | 0 | |
| ジャーナリズム | 2 | |
| 共同プロジェクト(学外の教育機関・企業との連携) | 5 | |
| その他 | 2 | |

Q19. 来年も、インターン学生を受け入れようと思いますか。

| | | |
|----------------------------|---|-----------------------|
| 受け入れる | 3 | その他 |
| 条件付きで受け入れる (条件: 受け入れない) | 1 | ・やりたい事と期待していることを事前に提出 |
| 現在のところ未定 | 3 | |

| | |
|--|---|
| Q20. インターンシップの効果を高めるために、どのようなことが有効であると考えますか(複数回答可) | |
| 受け入れる学生の情報を事前に把握すること | 3 |
| インターン学生の選抜を自社で行うこと | 1 |
| 学校等で研修先の企業、業界に関する事前教育を行うこと | 1 |
| 学生側から事前に何を研修したいか提案させること | 5 |
| インターン修了後に研修報告書を提出させること | 3 |
| インターンシップに関するノウハウを大学と企業間で蓄積すること | 2 |
| その他 | 1 |

Q21. インターンシップが今後、文化として根付いていくためにはどのような条件が必要だと考えますか。(複数回答可)

| | |
|-------------------------|---|
| インターンシップに対する産業界全体の理解向上 | 2 |
| 学生のインターンに対する意識の向上 | 2 |
| 国による金銭的な支援 | 2 |
| インターンシップの仲介機関の設立 | 3 |
| 大学側にインターン専門のコーディネーターを設置 | 3 |
| 企業側にインターン専門の教育担当を配置 | 4 |
| その他 | |

Q22. インターンシップ制度が、今後社会に対してどのような役割を担っていくべきかご意見があればお聞かせください。

企業としては即戦力になる人材の確保という側面が大きいですが、その点にこだわるべきではない。インターンシップを通じて見聞を広げた学生が社会人となって活躍することが、社会全体の活性化につながるだろう。ともすれば専門領域に閉じこもりがちな学生の視野を広げ、それを社会に還元すること、それがインターンシップの最良の部分だと考える。その意味では、学生たちはいろいろな企業、職場を経験したほうがよいだろう。

将来について学生が自分の立場を考える際に、自分の適性を見極めるのにはよい機会だと思います。アルバイトなどでの社会経験は在学中でも出来ることですが、映画の現場クルーは一人一人が自立したプロですから、インターンの資質を鋭く見抜きます。インターン側でもその視線を直観的に感じるはずで、将来、自分がこの業界に向くかどうか大切な判断資料になると思われます。

学生の教育の役割を担うことを期待します。

最近、我が社の場合、グローバル・ビジネスが多く、力量のある人材に興味があります。特にインターンシップに通じて人材の採用が可能であれば望ましいです。

インターン学生と学校と企業が三位一体となった新しいビジネスモデルを立ち上げるためのシステム作りが必要であり最終的な社会に対する役割、ゴールはそこに向けられるべきである。